

## 情報社会を生き抜く子どもを育てる情報教育の推進 ～情報ツールの活用や情報モラルも含めて～

千葉県鎌ケ谷市立西部小学校 柳 昌孝

### I 現状と課題

#### 1 現状認識

「2020年代に向けた教育の情報化懇談会に関する懇談会」中間とりまとめでは、「いかに教員の指導力を向上させ、子供の資質・能力を高めるか、そのために必要な環境は何かといった、あるべき教育現場の姿をふまえ、2020年代に向けた教育の情報化を推進することが重要である」と述べられている。

教育現場では、急激な情報化の波に対応すべく ICT に係わる環境の整備を年々進めているが、地方公共団体により整備の必要性の理解に差が生じ、整備状況の大きな格差につながっているのが現状である。また、日常的な情報ツールの活用が進んでいるかといえ、教員の指導力に差が見られ、なかなか難しい状況にある。

#### 2 課題分析・アプローチの視点

第 2 期教育振興基本計画では、どのような授業に ICT を活用すべきかについて目標とされる水準等が明確に示されていない。また、十分な環境を整備するには多額な予算が生じることが、情報教育推進の大きな壁となっている。

鎌ケ谷市は、千葉県の北西部、北総台地のなだらかな緑の大地の上に広がる人口約 11 万人の都市である。市内には、東武野田線・新京成線・北総線・成田スカイアクセス線の鉄道 4 線と道路網が発達しており、都心から 25 キロメートル圏内にあることから、首都近郊の住宅都市として発展している。学校数は小学校 9 校、中学校 5 校である。そのため、鎌ケ谷市では市内小中学校 14 校をひとまとまりとして、今でき、かつ、今必要な環境整備を校長会と教育委員会とで検討し、情報教育環境整備を推進している。

### II 研究の概要

#### 1 情報ツールの活用を推進するための取組

##### (1) 情報ツール環境の整備

平成 28 年度より小中学校同時期のコンピュータリニューアル

##### (2) 学習支援に係る情報ツールの活用

- ① ノートパソコンからタブレット型へ
- ② 児童の情報ツール活用能力の向上
- ③ 外部講師を招聘しての各種ソフトウェア研修の推進

##### (3) 校務支援に係る情報ツールの活用

- ① 校務支援ソフトの積極的な活用
- ② 校務パソコン認証システム ほか

##### (4) 情報モラル教育の推進

- ① モラル教育ソフトの活用
- ② 情報モラル研修の推進

#### 2 プログラミング教育の推進

##### (1) プログラムって何だろう？

～外部講師の招聘による研修会の実施

- ・プログラム（動作の手順）をフローチャートを使って、実際に書いていろいろな仕掛けを簡単な図式で整理する学習。

##### (2) 北部小学校の実践 児童用タブレット 30 台

平成 29 年 11 月 第 2 学年 生活科

- ・単元名 パソコンとなかよし(5 時間計画)

最初にアンブラグドの授業として、身近にあるブロック(ワイズインテグレーション社ソフト「ゾビーズ」付属)を使用し、どのように命令すれば自分が意図した活動に近づくことができるのかを考えさせ、遊び的要素を入れながら能動的に働きかける活動をする中で、タブレットを使用して意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を養う授業の実施→各学年へ段階的に発展させる年間計画を作成。

### III 成果と課題

#### 1 成果

- (1) 情報活用能力の育成の学習過程の構築
- (2) 情報教育の視点を取り入れた授業モデルの提示
- (3) 校内研修のあり方
- (4) 校務支援情報ツール環境の整備

#### 2 課題

- (1) 教員の情報ツール活用指導力の更なる向上
- (2) プログラミング教育についての指導事例の充実
- (3) 「『2018 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針』で目標とされている水準」に向けた環境の整備
- (4) 情報モラル教育の充実

### IV 提言

#### 1 校長として子ども主体の授業づくりを常に大切に職員に指導しつつ、今後とも情報教育の推進を図っていく。

情報ツールはあくまでも「道具」であり、目的あつてのものである。情報ツールの活用に限らず、目の前の子どもの実態をしっかりと把握し、「付けたい力」を見極め、そのためにどのような授業を創造すべきか、日々考えることが教員の仕事である。児童にとって目的意識があり必要感のある場を創造した上で、情報ツールの活用が有効であると認められてこそ導入するものである。

#### 2 プログラミング教育の方向性を見極める。

様々な内容のプログラミング教育が行われている昨今、児童の実態を十分に吟味把握し、目的に即したプログラミング教育の内容であるか確認していく。